

愛知県がんセンターにおいて疫学研究として採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターにおいて疫学研究として採取・保管された検体を、当センターで下記研究に用いるとともに下記機関に提供することになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	松尾恵太郎
2. 研究課題名	初診患者を対象とした、がんに対する遺伝的多型性と環境要因の交互作用の研究
3. 研究の目的・方法	<p>本研究では、生活習慣調査と採血調査を依頼し、種々の遺伝的多型性(遺伝子多型、配列の変化、DNAメチル化等のエピゲノム的変化など)を調べ、これまでに判明している各がんの生活要因との交互作用を検討します。</p> <p>本研究の主目的(プライマリーエンドポイント)は、各種がんのリスクに関連する遺伝的背景、環境要因ならびにその交互作用を同定することです。さらにセカンダリーエンドポイントとして、①疾病予後に対する遺伝的背景、環境要因ならびにその交互作用を特定すること、②各種背景要因に関する遺伝的背景を同定することです。</p>
	<p>研究期間:平成13年12月から平成35年12月31日 (遺伝子解析:行う)</p>
4. 研究の対象となる方	愛知県がんセンター中央病院を平成13年12月から平成17年11月に初めて受診し、本研究への参加に同意された方
5. 研究に用いる検体・情報の種類	<p>検体名(DNA、血清、血漿)</p> <p>診療、疫学情報内容(生活習慣や健康状態に関するアンケート、測定された血中生化学項目等のデータ、遺伝子多型性の解析結果)</p>
6. 他機関への提供方法	<p>DNA、血清、血漿の提供は、郵送にて提供します。診療、疫学情報、遺伝的多型性の解析結果については個人識別指標の伴わない形で、暗号化・パスワード管理など第三者がファイルを容易に閲覧できない仕組みを施し、情報ファイルをCDなどの電子媒体に記録し、郵送にて提供します。郵送においては、受取人の手元に確実に届くことを保証する仕組みを用います。また、検体、情報はすべて個人識別指標を含まない形で提供されます。また遺伝的多型性解析結果の一部は匿名化して公的データベースに登録され、データベースが規定する制限の元、二次的に利用されます。</p>
7. 利用する者の範囲	<p>東京大学大学院新領域創成科学研究科(松田浩一)</p> <p>がん研究会癌研究所遺伝子診断研究部(三木義男)</p> <p>徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター(片桐豊雅)</p> <p>理化学研究所基盤技術開発チーム(桃沢幸秀)</p> <p>慶應義塾大学医学部病理学教室(金井弥栄)</p> <p>京都大学疾患ゲノム疫学解析分野(松田文彦)</p>

名古屋市立大学公衆衛生学講座(西山毅)
大阪市立大学視覚病態学(本田茂)
名古屋大学大学院医学研究科予防医学(若井建志)
大阪大学遺伝統計学(岡田随象)
名古屋大学腫瘍生物学(近藤豊)
名古屋大学人類遺伝・分子遺伝学(荻朋男)
大阪大学数理保健学(大野ゆう子)
国立成育医療研究センター社会医学研究部(浦山ケビン)
豊田中央研究所社会システム研究領域(中根英雄)
公的データベースの利用許可の下りた研究機関の研究者

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。  
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。  
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いること、提供を拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室  
倫理審査委員会事務局  
住所 : 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号  
FAX : (052-764-2963)  
e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)